

平成24年度 第5回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成24年10月16日（火）9：30～10：15

場所：5階庁議室

【議題】 環境モデル都市提案書の提出について

【提案局】 環境局（環境政策課）
説明者：原本環境局長（植木環境政策課長）

【出席者】 幸山市長、西島副市長、寺崎副市長、飯銅総務局長、高田企画振興局長、岡財政局長、多野農水商工局長、松永交通事業管理者、廣塚教育長、寺田上下水道局次長、本田都市建設局技監

【付議内容】 「環境モデル都市」提案書の内容について確定したい。

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇「環境モデル都市提案書（様式1）」
◇「熊本市環境モデル都市提案書 別添資料」
◇「環境モデル都市募集要領」
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇「環境モデル都市」提案書の内容について、以下を修正の上、了承する。
①「HEMS」や「BEMS」など一般的ではない用語については、説明を加えるなど分かりやすい記載とすること。
②本市は、『日本の縮図』といえる都市であることが特色であり、だからこそモデル都市としてふさわしいということをアピールできる記載とすること。
③本市が着実に進めている環境の取組みについて、しっかりとアピールできる記載とすること。

【審議の経過】 ◇企業誘致の観点からは、環境モデル都市として打ち出すのであれば、小さな取組みを集めたものではなく、大きな取組みを打ち出すべきと考える。そのことがCO₂削減の抜本的な見直しに繋がり、環境への取り組みをPRしたい企業にとってもアピールとなる。もっとダイナミックに取り組むべきと考える。（農水商工局長）
⇒ダイナミックに取り組むたいと考えており、農水商工局と個別に協議させていただく。（環境局長）

◇水と緑と太陽のタイトルについて、それぞれ何をやるのかを分かりやすく記載できないか。(西島副市長)

⇒水と緑と太陽については、直接 CO₂削減につながりにくい側面はあるが、太陽光発電屋根貸し事業といった熊本ならではの取組みについては少なくとも盛り込んでいるところ。(環境局長)

⇒水と緑と太陽というキーワードは、どこの都市でも使っているので、他都市の使い方を調べて、独自性に留意すること。(寺崎副市長)

⇒了解。(環境局長)

◇ HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) やBEMS (ビル・エネルギー・マネジメント・システム) など一般的ではない用語については、説明を加えるなど分かりやすい記載とすること。(寺崎副市長)

⇒了解。(環境局長)

◇財政面について、問題はないか。(西島副市長)

⇒事業内容については、平成22年3月に策定した「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」をベースとしており、中期財政計画に盛り込まれているものが基本となるものと理解している。新たなものについては、個別に査定することになる。(財政局長)

◇総務大臣に「熊本市は『日本の縮図』だ」と言われたように、本市には、海も山も川もあり都市も農村もあることが特色である。『日本の縮図』であるからこそ、モデル都市にふさわしいということをアピールすべき。そのような観点で修正すること。(寺崎副市長)

⇒了解。(環境局長)

◇今、国が重視するキーワードは、「防災」である。防災の観点も重要である。(寺崎副市長)

◇他都市に比べ派手さは無いかもしれないが、環境に対する取り組みは着実に進んでいると考えている。その点について、しっかりとアピールできるような記載とすること。(幸山市長)

⇒了解。(環境局長)